

# 4月2日は 「世界自閉症啓発デー」



World Autism Awareness Day

## 「世界自閉症啓発デー」とは

平成19年12月18日の国連総会において、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」(World Autism Awareness Day)とすることが決議され、世界各地において自閉症に関する啓発の取り組みが行われています。

これに対応し、世界自閉症啓発デー・日本実行委員会が組織され、自閉症をはじめとする発達障がいについて、広く啓発する活動を行っていくこととなりました。

シンポジウム、ポスター・パンフレットの配布、ホームページを通じた啓発等の活動は、多くの皆様に自閉症について理解していただくことを目的としています。

今後、一人ひとりの理解が深まり、自閉症の人々にとっても暮らしやすい社会となることを、私たちは願っています。

世界自閉症啓発デー 日本実行委員会<公式サイト>より転載

4月2日～8日を「発達障害啓発週間」として、全国各地でイベント等を実施予定。

イベント情報は公式サイトから <http://www.worldautismawarenessday.jp/>

世界自閉症啓発デー  
日本実行委員会

厚生労働省

文部科学省

国立特別支援教育総合研究所

日本自閉症協会

JDD 日本発達障害  
ネットワーク

アスペ・エルデの会

日本自閉症スペクトラム学会

全国自閉症者施設協議会

福岡市では世界自閉症啓発デー(発達障がい啓発週間)にあわせ、下記の団体で街頭での啓発活動を行います。

実施団体:

福岡市、福岡市教育委員会、福岡市発達障がい者支援センター(福岡市社会福祉事業団)、福岡市自閉症児者親の会、福岡LD及び周辺児・者親の会「たけのこ」、成人期高機能自閉症・アスペルガー親のグループ「あすなろ」、知的障がい特別支援学校保護者会連合会

# みんなちがって、みんないい

4月2日～8日  
「発達障がい啓発週間」です



World Autism Awareness Day

## あなたにも知りてもらいたい 発達障がいのこと

## 発達障がいの理解のために

発達障がいは生まれながらの何らかの脳の機能障がいのために、大多数人とは違う感じ方や、考え方、物事の理解の仕方をするという認知と行動の障がいです。

そのため生活面、学習面、自立した社会生活を送る上で、様々な制限や困難を抱えますが、一見しただけでは障がいがあるとはわかりにくく、親の育て方や本人の努力不足のせいと誤解され、周囲の無理解に苦しんでいる人が少なくありません。

そこで平成17年4月より発達障害者支援法に基づいた取り組みがスタートしました。

発達障害者支援法では、これまで制度の谷間におかれていて、必要な支援が届きにくい状態となっていた「発達障がい」を「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がい、その他これに類する脳機能障がいであってその症状が通常低年齢において発現するもの」と定義し、支援の対象となりました。

この法律は、「発達障がい」のある人が、生まれてから年をとるまで、それぞれのライフステージ(年齢)にあった適切な支援を受けられる体制を整備するとともに、この障がいが広く国民全体に理解されることを目指しています。



- 言葉の発達の遅れ
- コミュニケーションの障がい
- 対人関係・社会性の障がい
- パターン化した行動、こだわり

自閉症

広汎性発達障害

アスペルガー症候群

- 基本的に、言葉の発達の遅れはない
- コミュニケーションの障がい
- パターン化した行動、興味・関心のかたより
- 不器用(言語発達に比べて)

それぞれの障がいの特性

注意欠陥多動性障害ADHD

- 不注意(集中できない)
- 多動・多弁(じっとしていられない)
- 衝動的に行動する

学習障害 LD

- 「読む」、「書く」、「計算する」等の能力が、全般的な知的発達に比べて極端に苦手



発達障がいと言っても、どんな能力に障がいがあるのか、どの程度なのかは、人によって様々です。子どもにも大人にも発達障がいの特徴を持つ人がいます。また、発達障がいは障がいの困難さも目立ちますが、優れた能力を発揮されている場合も少なくありません。

近年の調査では発達障がいの特徴を持つ人は稀な存在ではなく、身近にいることがわかってきました。

できるだけ早い時期から周囲の理解が得られ、必要な支援が行われることが大切です。

## 発達障がいといふけれど…

発達障がいのある人たちが、実際に生活をする上で、どんな場面で誤解されたり、トラブルになってしまふのか見てみましょう。

## タイミングがわからない



## 非常識な行動?



困ったときの解決方法を事前に伝えたつもりでも、本人は、伝えるタイミングが分からずに困っていることもあります。

「誰に」「どのようなタイミングで」「どういう風に」尋ねるとよいのかを、できるだけ具体的に、事前に伝えると安心できます。  
メモなどに書いておくことも、いざというときに有効です。

なるほど!  
日常の何げない場面で  
ずいぶん苦労してるんだね



## 人付き合いが悪い?



その時の状況や雰囲気を察して、柔軟に行動することが苦手です。本人としては、決められたルールに沿って行動していく、悪気はありません。

暗黙の了解事項についても、「時間をすぎても全て終わるまで」「帰るときは○○さんに確認してから」など具体的なルールとして明確に伝えておくことで、気付き行動できます。

とりとめのない雑談、興味のない事柄についての会話など、明確な目的のない会話が苦手な場合があります。

婉曲的な言い方が苦手で、直接的な表現になってしまふため、人付き合いが悪いように感じられることがあります、悪気はないのです。

時には、休憩時間は、1人で過ごす方が落ち着くこともあります。

## どっちが優先?



内容の重要性や頼んだ相手の意図をくみ取って、仕事の優先順位を判断することができません。

順序立て指示されると、確実にこなしていくことができます。

聞いて理解するより見て理解することが得意なため、メモや指示書は大いに助かります。

## 言ってくれなきゃ?



「気が利かない」「融通が利かない」わけではなく、その場の状況や会話の流れなどから読み取ることが苦手です。そのため、「お鍋見て」と言われて文字通り「見る」だけになってしまったり、見てどうするのかわからずには混乱したりします。

「グツグツ煮えていたら、火を止めて」というように具体的に伝えることで理解し、行動することができます。

外界の情報の中から必要なものだけをうまく選択できないために、周囲のさまざまな音が聞こえうるさく感じたり、視野に入るものに、あれこれ気を取られたりすることがあります。

刺激を少なくすることで、集中して作業に取り組めます。

## 理解から始まる支援

発達障がいがある方の感じ方や理解の仕方が周囲の人と違うので、周囲から誤解されてしまったり、トラブルになってしまったりすることがよくあります。

周りからは「困る人」と見られがちですが、本当は「困っている人」という周囲の理解が必要です。周りの人が障がいの特性を共通理解することから支援が始まります。

## “できる”工夫で長所を活かす

苦手なことでも、周囲の理解と、特性に合わせた工夫をすることで、その人の良さを発揮することができます。

## 発達障がいのある人の良さ

- ・常識にとらわれないユニークさ、新しい発想力
- ・細かなルールを守る生真面目さ、几帳面さ
- ・日付や数に対する正確さ、記憶力のよさ
- ・興味あることへの熱心さ、集中力、ねばり強さ などほかにもたくさん



福岡市在住の発達障がいのある方の相談窓口です

**ゆうゆうセンター**

福岡市発達障がい者支援センター TEL092(845)0040 FAX092(845)0045  
〒810-0065 福岡市中央区地行浜2-1-6 福岡市発達教育センター2階